

## 春レタスの菌核病の発生に注意しましょう。

### [ 現在の状況 ]

2月中旬現在、菌核病の発病株率、発生地点率はともに過去11年中最も高い(表1)。向こう1か月の気象予報(平成23年2月18日気象庁発表)によると、降水量及び日照時間は平年並と予想されているが、本病は2月～3月に発生が多くなる傾向があるので、今後の発生に十分注意する。

表1 春レタスにおける菌核病の発生状況(2月第3半旬調査)

| 発病株率(%)  |     | 発生地点率(%) |     |  |
|----------|-----|----------|-----|--|
| 本年値 (順位) | 平年値 | 本年値 (順位) | 平年値 |  |
| 3.6 (1)  | 0.6 | 60 (1)   | 22  |  |

順位は過去11年中の順位、平年値は過去10年間の平均値

### [ 防除対策 ]

トンネル内が多湿になると発生が助長されるので、換気によりトンネル内の湿度を低く保つ。

結球期以降になると、特に発病しやすくなるため注意する。

発病株は、菌核を作らないうちに早急に取り除き、圃場外に持ち出して処分する。多発すると防除が困難となるため、初期防除を徹底する。また薬剤散布にあたっては薬液が葉裏や株元にも届くよう、十分な量を丁寧に散布する(表2)。

表2 レタスの菌核病に登録のある主な薬剤(平成23年2月2日現在)

| 薬剤名                         | 希釈倍数<br>(倍)     | 収穫前日数<br>(日) | 本剤の使用<br>回数(回) | 有効成分(使用回数)                  |
|-----------------------------|-----------------|--------------|----------------|-----------------------------|
| スミブレード<br>水和剤 <sup>注)</sup> | 1,000<br>~2,000 | 7            | 5              | ジエトフェンカルブ(5)<br>+ プロシミドン(5) |
| スミレックス<br>水和剤 <sup>注)</sup> | 1,000<br>~2,000 | 7            | 5              | プロシミドン(5)                   |
| カンタスドライ<br>フロアブル            | 1,000<br>~1,500 | 14           | 1              | ボスカリド(1)                    |

注) スミブレード水和剤とスミレックス水和剤は、非結球レタスに登録がないので注意して下さい。

農薬を散布する際は、農薬ラベルに記載の使用方法、注意事項等を守り、周辺作物への飛散(ドリフト)に注意して散布して下さい。特に収穫前日数、使用回数には十分注意して下さい。